

令和7年度進捗状況と評価

成果指標	記載頁	単位	R7	R8目標	達成度	評価
くまもとグリーン農業「生産宣言者」数	29	件	1,288	1,300	99.1%	順調に増加傾向であったが、大幅な減少となり目標値を割り込んだ。
くまもとグリーン農業「応援宣言者」数	29	件	963	1,500	64.2%	昨年度から変化がなく、大幅な増加は難しい状況にある。
エコファーマー登録者数	29	経営体	492	400	123.0%	当該年度達成。
食育指導人数（各学校給食センター合計）	30	人	3,837	4,000	95.9%	全国学校給食週間期間中に各学校において給食集会等を開催し、栄養教諭による食に関する講話を実施した。児童生徒の食に関する理解や望ましい食習慣の形成を図った。各学校において、食育指導を実施したものの、児童生徒数の減少に伴い、食育指導を受けた児童生徒数が前年度を下回ったため未達成となった。
食生活改善推進員数	30	人	99	150	66.0%	養成講座受講により若手の入会もあったが、会員の高齢化などで退会する会員も増えた。
食生活改善推進員地域活動回数	30	人	4,470	1,800	248.3%	当該年度達成。高齢者に向けた栄養教室や校区の行事(どんどこ)への参加などにより、参加者数が増えた。
食育講演会参加者数	30	人	407	300	135.7%	当該年度達成。玉名市合併20周年記念として、新たに記念品の配布やガラポン抽選会、ゆるキャラ撮影会等を行ったため、予想を上回る来場者数となり盛況に開催できた。
食生活改善推進員協議会加入者	30	人	99	148	66.9%	8名の会員が退会されたものの10名の新規加入があった。しかし高齢の会員の退会は避けられない事項である。
市内小中学校給食の熊本県産農産物の使用率(学校給食自給率)	30	%	64	65	98.5%	栄養教諭へ地場産物の積極的な活用を依頼し、使用促進に努めたが、食材価格の高騰が続く中、給食費を据え置いていたことから、価格や安定供給を考慮して献立を作成する必要があり、目標値を下回った。
玉名産農産物を取り扱う店舗数（直売所や産直コーナーなど）	32	店舗	15	15	100.0%	当該年度達成。
新規就農人数	34	人/年	20	10	200.0%	当該年度達成。
認定農業者数	34	人	952	900	105.8%	当該年度達成。
集落営農・法人数	34	法人	100	90	111.1%	当該年度達成。
認定農家者SNS配信登録者数	34	人	577	550	104.9%	当該年度達成。農業政策課独自の公式LINE加入への誘導ができており、年々増加傾向にある。
担い手（認定農業者）に集積された農地面積の割合	36	%	74	80	92.5%	達成できていないものの、担い手への集積は順調に増加している。
主要農産物の経営面積（温州みかん）	36	a	93,364	98,000	－	農林業センサスによる数値のため、未評価。
主要農産物の経営面積（イチゴ）	36	a	8,420	9,800	－	農林業センサスによる数値のため、未評価。
主要農産物の経営面積（トマト）	36	a	26,282	22,000	－	農林業センサスによる数値のため、未評価。
6次産業推奨品数	38	品	12	23	52.2%	現在、新たな6次産業事業者の参入ではなく、販売中の6次産業推奨品の支援を主に行っており、加工業者による物産品と一体的に支援を行っている。そのため、6次産業のみの目標達成は今後困難である。
耕作放棄地解消面積	41	ha/年	0.40	2.00	20.0%	今後も引き続き目標達成に向けて、地域の実情等を踏まえ地域の担い手等と連携しながら耕作放棄地の解消に向けた取り組みを推進していく。
多面的機能支払交付金事業 農地保全活動延べ日数	41	日/年	1,455	1,620	89.8%	草刈りや水路の浚渫、農道の維持管理等地域の農地維持に係る取り組みを各団体で行っている。地域住民の高齢化や参加人数の減少により目標値の達成が出来なかった。
傾斜農用地耕作面積	41	m ²	854,813	735,000	116.3%	当該年度達成。
着地型旅行商品の開発数	43	本	11	15	73.3%	人手不足により受け入れができないなどの理由で商品数が目標達成できなかった。
都市との交流イベントの開催数	43	回/年	6	5	120.0%	当該年度達成。